

# 香椎宮の魅力 学生引き出す

## 野だて ■ご神木使うお守り考案

### 九産大「プロジェクト型教育」地域と連携

千年以上の歴史を誇る香椎宮（福岡市東区）の境内で10日に野だてがあった。主催したのは九州産業大芸術学部ソーシャルデザイン学科・井上友子教授の研究室。社会の最前線ですら行動し、答えを導き出す力を養うのが目的の「プロジェクト型教育」の一つだ。



東区

茶席の周りには香椎宮の古い写真を展示。九産大の茶道部員がたてたお茶と、香椎宮の名水にちなんだ茶菓子「不老水」を味わいながら写真を鑑賞する趣向があった。



井上研究室の演習で2016年度から続けている「香椎宮の魅力度アッププロジェクト」の一環だ。香椎宮は天皇の勅使が遣わされる「勅祭社」16社の一つで、本殿は国の重要文化財。伝統と格式を誇るが、参拝者の数は太宰府天満宮や宗像大社より少ない。井上教授が「面白い材料はたくさんある。掘り起こして発信すれば参拝者



①お茶をたて、客をもてなす九州産業大茶道部員  
②香椎宮の拝殿。その奥に幣殿、最も奥に本殿がある。いずれも福岡市東区

は増えるはず」と企画した。香椎宮やその周辺地域について歴史や文化、地理的な面などを調べて魅力を引き出す方法を提案する――。学生たちは香椎宮関係者に素案を示し、その意見を踏まえてさらに内容を練った。JRや西鉄の駅から香椎宮までの案内板設置、神木・綾杉の皮を使ったお守りの製作、明治時代に定期的に茶会が開かれていた茶室の再現などだ。

「注目度を重視した企画を予想していたが」と香椎宮権禰宜の木下英大さん(38)。「きちんと伝統の文脈を押さえていた」と評価した。今年度は芸術学部の6人が受講している。茶会を提案したソーシャルデザイン学科3年の日高みなみさん(21)は「イベントで参拝者を増やそうと考えた。神社なので制約もあって企画を考えるのに苦労したが、めったにできない経験ができた」と振り返る。

「注目度を重視した企画を予想していたが」と香椎宮権禰宜の木下英大さん(38)。「きちんと伝統の文脈を押さえていた」と評価した。

今年度は芸術学部の6人が受講している。茶会を提案したソーシャルデザイン学科3年の日高みなみさん(21)は「イベントで参拝者を増やそうと考えた。神社なので制約もあって企画を考えるのに苦労したが、めったにできない経験ができた」と振り返る。

九産大と同大造形短期大学部は13年度から、香椎宮プロジェクトのように地域や行政、企業などと連携する「プロジェクト型教育」に取り組んでいる。毎年度、約1300のプロジェクトが実施される。地元東区での連携が多い。香椎川や西鉄香椎駅などを灯明で飾る「香椎灯明まつり」には、造形短期大が協力する。15回目を今年10月7日に開催され、学生約25人が参加した。子どもが入れるほどの大きさの立体像を竹と和紙で制作。小学生が描いた絵を貼った灯明も設置され、香椎の夜を彩った。

運営に関わった香椎校区自治協議会の板倉由美子さん(68)は「学生の若い力で祭りに活気が出た」と感謝する。香椎宮のそばで1910年に創業した綾杉醤油の社長で、香椎公民館館長も務める藤野庫充さん(69)は「卒業生の中には、行事があるときは呼んでくれと言っ子もいるし、卒業した後も香椎に遊びにくる子もいる」。若者との絆を喜んでいる。

(宮田宣士男、岡純太郎)

九産大と同大造形短期大学部は13年度から、香椎宮プロジェクトのように地域や行政、企業などと連携する「プロジェクト型教育」に取り組んでいる。毎年度、約1300のプロジェクトが実施される。地元東区での連携が多い。香椎川や西鉄香椎駅などを灯明で飾る「香椎灯明まつり」には、造形短期大が協力する。15回目を今年10月7日に開催され、学生約25人が参加した。子どもが入れるほどの大きさの立体像を竹と和紙で制作。小学生が描いた絵を貼った灯明も設置され、香椎の夜を彩った。

◇

「よかまち」の次のシリーズは12月中旬、苅田町を取り上げる予定です。